

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

思いやりの心をもった心身共に健やかな子どもを育てる

(2) 経営方針

どの子ども“通いがい”を感じられる学校をつくる

(3) 重点努力目標

① 『つよく』をめざして

- ・健康教育と防災教育を通して、自分の命と体を大切にすることを育み、実践力を身につけさせる。
- ・思いやりや公共心と関連づけた指導を通して、自分がすべきことは自分でしようとする自立心を養う。
- ・発達段階に応じて、攻撃的でない自己主張の方法、ストレスや怒りへの対処法などのスキルを身につけさせる。

② 『やさしく』をめざして

- ・「親切、思いやり」を重点内容項目として道徳教育を行い、実践力の幅を広げる。
- ・さまざまな視点をもって自他のよさに目を向けられるようにする。
- ・人の立場と気持ちを考え、よいと思ったことをすすんで行動に移せるようにする。

③ 『かしこく』をめざして

- ・子どもの意識の流れを十分に考慮して単元や題材を構想し、とりかかりやすく追究しがいのある学習活動をデザインする。
- ・子どもが深い納得に到達できるよう、次のポイントをおさえて授業実践を重ねる。
 - ア 単元や題材の目標、本時のめあての明示
 - イ 考え続けたいくなる動機づけ（疑問、発見、感動）
 - ウ 一人で考えを練る機会・時間の保障と個に応じた支援
 - エ 伝え合いやすくする手立て（場づくり、タブレットの活用、教師の出）
 - オ 本時の学びを子ども自身が実感できる振り返り

④ 集団づくりのために

- ・自分のよさを生かし、人の役に立つことを通して自己肯定感を高める。
- ・活動の目的とニーズを意識して自分の役割を果たそうとする姿勢を育てる。
- ・アイデアを出し合い、折り合いをつけながら協力し合えるようにする。

⑤ 子どもの力を引き出すために

- ・目的、目標を明示する ・任せる範囲を伝える ・判断の機会を与える
- ・自発的な行動をほめる ・その子なりの工夫を尊重する

(4) 職員チームとして

- ・明るい挨拶、時刻を守る、「来たときよりも美しく」について子どもに手本を示す。
- ・相手の立場に立った報告、連絡、相談に努め、保護者との信頼関係を築く。
- ・子どもにも大人にも、話を聞いてくれる先生と感じてもらえることをめざす。
- ・抱え込まず、閉じこもらず、風通しのよい教室と職員室づくりに努める。
- ・子どもの反応や同僚の取組から学ぼうとする姿勢をもち続ける。
- ・PDCAサイクルを意識して、自己の取組をこまめに振り返る。
- ・「多忙化改善プラン」を踏まえて心身の健康管理に努めるとともに、見識を広げるためのゆとりを生み出す。